

意見一覧

承認する委員の意見

No	委員	意見の内容
1	川島委員	これまでの意見を丁寧に反映している点、また大変わかりやすくまとめられている点など、市民目線での計画であると感じました。
2	高林委員	3ページからの「各保育所の入所児童数の推移」のグラフは、とてもわかりやすいと思います。こういう経緯があつての再配置なんだな…と思ってもらえるのではないのでしょうか。 どの表も、0歳児と1歳児を分け、年齢ごとのカラーになっているのも見やすいです。
3	木村委員	今後も子どもの過疎化による影響は大きくなり、高齢化も進む中で時代に人材不足に伴い、採用強化継続とともに時代に合ったICT化を導入し、人材確保の軽減、現場の労力の軽減により働きやすい環境と処遇待遇が出来ることを臨みます。 いつも子ども達の為にありがとうございます。

承認しない委員の意見

No	委員	意見の内容	市の考え	案への反映
1	今井委員	市立保育所の再配置について、民営化の凍結によって進められるよう改定する本案を、以下の理由から、保護者が安心して預けられる保育所の再配置は、民営化によっても体制は維持されと考え、承認することはできないと判断しました。	本計画の改定に当たりましては、市立保育所の入所児童保護者や保育所所在地区の方々からご意見等を伺ったほか、民間の教育・保育施設からも「市立保育所の在り方等」についてご意見等を伺い、「保護者が市立又は私立の保育施設を選択できるようにしてほしい」、「児童の受け皿を確保してほしい」等のご意見をいただきました。 今回、市といたしましては、皆様からいただいたご意見等を踏まえ、現在、市立保育所が抱えている喫緊の課題に取り組み、適切な再配置を実施するため、市立保育所の民間移管ではなく、廃止・集約により再配置を進めるものとして、取組内容を見直すことといたしました。 一方で、今回の見直しにより、全ての課題が解決に至るものではないことも認識しています。年少人口の減少が見込まれる中、継続して適切な保育環境を整えていくため、今後、市域全体における教育・保育環境のあり方について、様々な視点から検討していく必要があると考えています。	無
1-1		少子高齢化による税収減や社会保障費の増加などを背景に、市財政の健全化が大きな課題となっている中で、公立保育所の運営コストも市財政を圧迫している。民営化により持続可能な運営体制へと移行することで、市財政健全化につながるのではないか。		
1-2		共働き世帯の増加や、育児と仕事を両立したいという家庭の増加により、保育へのニーズは年々多様化している。例えば、早朝・夜間の延長保育、休日保育、一時保育、アレルギー対応食の提供、外国人家庭への配慮など、求められるサービスは多岐にわたっている中で、民間事業者であれば、自主的なサービス提供が可能となり、地域のニーズに応じた保育が実現しやすくなるのではないか。		
1-3		保育士の人材不足が深刻する中で、市保育所では採用が市の人事制度に基づくため、必要なタイミングで人材を確保するのが難しくなっていると思われるが、民間事業者の場合は、柔軟な採用活動が可能である。また、民間事業者の中には複数の保育園施設を運営している法人も多く、職員配置や育成、採用に関する体制が整っており、職員の適正配置や研修体制も整備されていることが多くより安定した人材供給が可能であると思われる。また、ICTを活用した保育業務の効率化や、経営ノウハウを活かしたコスト管理によって、質を保ちながらも効率的な運営が実現できる点も、民営化のメリットと思われる。		
1-4		保育園は民営化後も、自治体から認可を受けた「認可保育所」として運営されるため、基本的な運営基準は従来と変わらない。また、保育士の人数配置や保育時間、施設面の安全基準などは、引き続き国の定める制度に準拠して実施される。また、保育の質についても、市や県による監査や指導が継続して行われるため、急激な変化や質の低下は起こりにくい仕組みになっている。さらに、地域とのつながりや行事についても継続されることが考えられる。		